

秋冬旅



移りゆく季節の中で、歴史と文化を楽しむ

- JRで**
- 新宿から(東京・千葉から一部直通あり)
=中央本線/特急約2時間30分(1時間に1本)
 - 東京から(長野経由)=新幹線利用約2時間20分
 - 名古屋から=中央本線/特急約2時間
 - 大阪から(名古屋経由)=新幹線利用約3時間10分

- 車で**
- 名古屋から=中央自動車道(岡谷JCT)
長野自動車道利用で約200km松本I.C下車、
松本城まで約10分
 - 東京から=中央自動車道(岡谷JCT)
長野自動車道利用で約220km松本I.C下車、
松本城まで約10分

- 飛行機で(信州まつもとと空港利用)**
- 福岡⇒松本 約90分 FDA
 - 札幌⇒松本 約100分 FDA



●観光・宿泊のご案内 ●其他のご案内

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 松本市観光情報センター ☎0263-39-7176 | 銀座NAGANO観光情報センター ☎03-6274-6017 |
| 松本市観光案内所 ☎0263-32-2814 | 長野県名古屋観光情報センター ☎052-263-4118 |
| 浅間温泉観光協会 ☎0263-46-1800 | 長野県大阪観光情報センター ☎06-6341-8205 |
| 松本ホテル旅館協同組合 ☎0263-33-5025 | (一社)長野県観光機構 ☎026-234-7165 |
| 浅間温泉旅館協同組合 ☎0263-46-1224 | JR東日本お問い合わせセンター ☎050-2016-1600 |
| 美ヶ原温泉旅館協同組合 ☎0263-33-2353 | JR東海テレフォンセンター ☎050-3772-3910 |
| (一社)松本市アルプス山岳郷 ☎0263-94-2221 | アルピコ交通上高地線 ☎0263-92-2511 |
| 上高地観光旅館組合事務所 ☎0263-95-2405 | NEXCO東日本お客様センター ☎0570-024-024 |
| 乗鞍高原観光案内所 ☎0263-93-2147・2952 | NEXCO中日本お客様センター ☎0120-922-229 |
| 白骨温泉観光案内所 ☎0263-93-3251 | 松本バスターミナル ☎0263-32-0910 |
| さわんど温泉観光案内所 ☎0263-93-1800 | 休日・夜間緊急医案内サービス ☎0570-08-8199 |
| ながわ観光協会 ☎0263-79-2125 | FDAコールセンター ☎0570-55-0489 |
| 松本市四賀観光協会 ☎0263-64-4447 | |

●松本観光へのご意見・ご要望

- 松本市観光温泉課 ☎0263-34-3000(代表)
- 松本市山岳観光課 ☎0263-34-3000(代表)

松本観光コンベンション協会 0263-34-3295

- 〒390-0874 松本市大手 3-8-13 松本市役所大手事務所 1F
- e-mail: yokoso@matsumoto-tca.or.jp



(2019.9-40,000)

松本の歴史をめぐる

お城は、それ自体がおどろきの宝箱。好奇心の鍵で、誰もが先人の英知に触れられる。そして学び舎は、知性への憧憬にあふれ、想いを幾星霜さかのぼらせてくれる。知的な旅は、明日も果てることのない。

国宝 松本城

安土桃山時代の文禄2~3(1593~1594)年に建てられたとされる五重六階の大天守を中心に、連結複合式と呼ばれる独特の構成を持った5棟の櫓(やぐら)が連なる天守は、400年の風雪に耐えながら戦国時代の優れた築城技術を今に伝えています。秋や冬には冠雪の日本アルプスを借景に、白と黒のコントラストが絶妙の調和を生み出します。



江戸時代の松本城がよみがえる

松本城VRツアーを体験しよう!

お手持ちのスマートフォンやタブレット端末で、江戸時代の松本城の姿をお楽しみいただけます。専用アプリ「ストリートミュージアム」(無料)をダウンロードしてご利用ください。



◆大天守 石垣を除いた大天守の高さは約 25mで、今も松本市街地を一望できます。木造でこれだけの高さを組むためにさまざまな工夫が凝らされています。



◆太鼓門

二の丸へ入るための正門です。門台上には太鼓と半鐘が置かれ、城下への合図が発せられていました。明治初年に破却されましたが平成4(1993)年に石垣が、同11(1999)年には門が復元され、往時の雄姿を再び現しました。門台には、高さ約4m・推定22.5tの巨石「玄蕃石」が据えられています。



◆月見櫓

城主・松平直政が3代将軍・徳川家光をもてなすために設けた櫓と言われています。戦闘的な要素はなく、三方に舞良戸をたて、朱塗りの回縁が巡らされた開放的な雰囲気です。



◆国宝 旧開智学校校舎 祝!令和元年国宝指定

明治9(1876)年に建てられた擬洋風建築の小学校校舎。国内に残存する最も古い小学校の一つです。色ガラス、風見鶏の付いた八角塔など、はばしに文明開化の息吹が感じられます。館内には江戸時代からの貴重な教育資料が展示されています。

無料観光ガイドのご案内 (まちなか観光ボランティアガイド)

ご予約に応じ、松本城、旧開智学校校舎などの名所はもちろん、城下町の見所をご案内します。地元の魅力を知り尽くしたガイドとともに「まち巡り」をお楽しみください。原則1週間前までにご予約ください。



◆重要文化財 旧松本高等学校校舎

『どくどくマンボウ青春記』の北杜夫や白井吉見、唐木順三、辻邦生らの文学者を輩出した旧制松本高等学校は、現在の信州大学の前身であり、残された大正時代の洋風校舎が当時を今に伝えています。平成19(2007)年には講堂と本館が国の重要文化財に指定されました。

通年実施(年末年始を除く) 松本市観光情報センター 電話 0263-39-7176

イベント情報

イベントに参加してもっと松本を楽しみませんか?

第63回お城まつり

10/14(月・祝)~11/4(月・祝)

開催場所:松本城本丸庭園他



合同茶会を皮切りに、菊花展まで多彩なイベントを開催します。

松本城管理事務所 電話0263-32-2902

第31回 国宝松本城古式砲術演武

10/20(日)

開催場所:松本城本丸庭園



愛知県古銃研究会鉄砲隊、駿府古式砲術研究会駿府鉄砲隊、松本城鉄砲隊による三隊合同演武を行います。

松本城管理事務所 電話0263-32-2902

京都市学校歴史博物館連携特別展

学校資料を伝えて、使って~教育資料のこれから~

10/26(土)~12/8(日) 開催場所:旧開智学校校舎



ともに「開智小学校」を母体とする旧開智学校校舎と京都市学校歴史博物館が連携し、学校資料の貴重さや活用の大切さを発信する特別展を開催します。

旧開智学校校舎 電話0263-32-5725

松本城ウォーク2019

11/9(土)・10(日)

開催場所:松本城公園



松本ならではの秋を楽しむ2日間のウォーキングイベントです。地図に示された印所にある印判をオリジナル集印帳に押しつけてゴールを目指します。

松本観光コンベンション協会 電話0263-34-3295 信濃毎日新聞 松本本社事業部 電話0263-32-3460

松本平の御柱展

12/1(日)~R2.1/26(日)

開催場所:重要文化財馬場家住宅



内田地区の市重要無形民俗文化財「内田のおんべ祭り」の時期にあわせて、松本平のおんべ行事の特徴と飾り物などを紹介します。

重要文化財馬場家住宅 電話0263-85-5070

松本武道祭

12/15(日)【予定】

開催場所:松本市総合体育館



各種武道競技の模範演武を行います。指導者および小・中学生の錬成稽古の披露を通じ、広く市民の皆さんに武道への理解を深めていただきます。実際に体験もできます。

松本体育協会 電話0263-32-7056

第29回 国宝松本城新春祝賀式

R2.1/3(金)

開催場所:松本城黒門・本丸庭園



新年を祝う正月の恒例行事です。古城太鼓の打初めと共に黒門の大門が開かれます。

松本城管理事務所 電話0263-32-2902

松本の文化に触れる



草間彌生(幻の華)2002年、(松本から未来へ)2016年

◆ 松本市美術館 平成14(2002)年4月に開館。地域に根ざす総合美術館として、前衛芸術家・草間彌生、書家・上條信山、洋画家・田村一男など松本出身またはゆかりの作家による作品や、山や音楽をテーマとした作品を収蔵・展示しています。美術館正面にある草間彌生の巨大野外彫刻作品「幻の華」を目印にお越しください。

城下町を歩く

古き薫りと新しい風が交じり合う城下町・松本。善光寺街道と野妻街道が交差し、そこから延びる通りや小路には、往時の賑わいとどめたかのような風情が漂います。歩かなければ分からない松本の魅力が、そこにはいっぱい溢れています。

なわて(縄手)通り



松本城の南縁堀と女鳥羽川に挟まれた「縄のように細長い土手」が名の由来。隣接する四柱神社と共に発展し、城下町を再現したように雑貨店やオープンカフェなどの露店が建ち並んでいます。

上土通り



大正時代の雰囲気色が濃く漂う街並み。かつて複数の映画館などを中心に大勢の人々で賑わった下町情緒を随所に残しています。

中町通り



白壁となまこ壁の土蔵が建ち並び、時代が巻き戻されたかのような風景の広がる「蔵の町」通り。個性豊かな飲食店や土産物店・雑貨店などがたくさん軒を連ねます。



◆ 松本民芸館

ケヤキ林の中、静かにたたずむなまこ壁の蔵造りの館内に、壺や漆器、水がめ、郷土玩具など心あたまる民芸品約800点を展示。昭和37(1962)年の創館で、「無名の職人たちの手仕事で日常品」である物に美を見る民芸の心を体現しています。



◆ 松本市はかり資料館

蔵の町・中町通りに位置し、「計る」「測る」「量る」道具とその関連資料約1300点を所蔵し一部を常設展示しています。平成元(1989)年に、明治時代からの老舗「竹内度量衡店」の建物を市が借り受けて開館しました。



◆ 松本市立博物館

長野県内で最も古い歴史を持つ博物館で、前身は明治39(1906)年までさかのぼります。現在は「松本まるごと博物館」の中核施設として、松本城関連資料や国指定の重要有形民俗文化財コレクションなどを収蔵展示しています。



◆ 日本浮世絵博物館

松本出身の紙の諸式問屋・酒井家の5代200年にわたる浮世絵コレクション約10万点を集めた浮世絵の殿堂として、昭和57(1982)年にオープン。現代的な外観の館内には、肉筆・版本を創って初期の浮世絵から現代の創作浮世絵までが網羅されています。2018年8月、松本中心市街地伊勢町にアンテナショップ「浮世絵ミュージアムショップ まつもと伊勢町店」がオープン。



◆ 松本市歴史の里

◆ 重要文化財 旧松本区裁判所庁舎

信州の近代をテーマに、江戸後期から昭和までの歴史的建造物5棟(裁判所、工女宿、製糸工場、少年刑務所、木下尚江生家)を移築復元した「たても野博物館」です。旧松本区裁判所庁舎は、国の重要文化財です。

城下町湧水めぐり

松本市街地は女鳥羽川や薄川の伏流水とされる地下水が豊富で、町のあちこちに数多くの井戸や湧水があり、それらは市民によって手厚く保全されています。「まつもと城下町湧水群」として「平成の名水百選」にも選定された湧水の味と情緒をお楽しみください。

源智の井戸



亀の泉



草庵の井戸



中町 蔵の井戸



松本神社前井戸



深志の湧水



妙勝寺の井戸



イベント情報

イベントに参加してもっと松本を楽しみませんか？

浅間温泉 松明まつり

10/12(土)
開催場所:浅間温泉内〜御射神社



浅間温泉に古くから伝わる奇祭で、御射神社秋の例祭。大きなものでは直径2m高さ3mほどの松明を担いで練り歩き、御射神社に奉納します。松明担ぎに参加希望の方はご連絡ください。

◎ 浅間温泉観光協会
電話0263-46-1800

乗鞍 星と月のレストラン

~10/31(木) 開催場所:乗鞍高原



中部山岳国立公園の自然を堪能しながら、信州産プレミアムディナーとお酒を楽しんでいただくディナープログラム。食後はガイド付きの夜空鑑賞もあります。

◎ (一社)松本市アルプス山岳郷 (株)信州未来づくりカンパニー
電話0263-94-2221 電話0263-94-2323

米かつぎマラソンin信州松本

10/27(日) 開催場所:松本市役所四賀支所



紅葉の虚空蔵山で善光寺街道の宿場として賑わった会田宿をパレードラン。同じく名所の立峠を経由する12kmの走りこたえのあるコースです。

◎ 四賀観光協会及び
四賀元氣プロジェクト
電話0263-64-2147

第62回まつもと市民祭松本まつり

11/3(日・祝) 開催場所:国宝松本城・中心市街地



中心市街地を歩行者天国として、ミス松本、姉妹都市・交流都市ミスパレードをはじめ、青少年武者行列、吟詠剣詩舞、少年少女剣道などな大会、奉射弓道大会、秋の茶会が開催されます。

◎ 松本まつり実行委員会(松本商工会議所) 電話0263-32-5345

春の松本ランニングフェスティバル2020 in信州スカイパーク

R2.3/20(金・祝) 開催場所:信州スカイパーク陸上競技場及び信州スカイロード10



日本一標高の高い「信州まつもと空港」を囲む、長野県内最大の県立都市公園「信州スカイパーク」で開催。

◎ 春ラン実行委員会事務局
電話0263-57-2211

第9回 岳都・松本「山岳フォーラム」

R2.3/14(土)・15(日)【予定】 開催場所:まつもと市民芸術館



北アルプスの玄関口から、山岳文化の啓蒙活動がより深められすべての人が山を考えたきっかけになればとの思いからの開催。山の魅力や楽しく安全な登山スタイルの提案など、全国に広くメッセージを発信します。

◎ 実行委員会事務局(山岳観光課)
電話0263-94-2307

第13回 上高地線ふるさと鉄道まつり

R2.3月下旬 開催場所:アルピコ交通新村車両所



新村車両所でミニSLや鉄道模型の走行、グッズ販売、電車や電気機関車の展示等を行います。

◎ アルピコ交通株式会社 鉄道事業部
電話0263-26-7311

身体に染み入っている。じわじわと潤っていくのが、自分で分かる。文化がこんなにあたたかいなんて、美や芸の放つ光が、こんなにまぶしいなんて。洗われているみたいなの、自分がある。

味覚・技を味わう



◆ 手打ち蕎麦・とうじ蕎麦

信州を代表する郷土食・そば。標高が高く土地がやせていて、霧がまき日照時間が短いのが、実のしまった良質なそばが採れる理由だと言われています。松本市では奈川地区と乗鞍高原が主な産地として知られており、特に奈川の「とうじそば」は、旬の山菜やきのこなどをに入れて煮立てた汁に小分けにしたそばをさっと通していただく伝統的な味が好評です。

◆ 松茸

松本市の四賀地区は、古くからの松茸の名産地として広く知られています。土質が良いことから香り・味ともに絶品と言われ、各地の市場で高い評価を得ています。



◆ リンゴ

松本市・梓川地区では、日照時間が長く昼夜の気温差が大きい気候と肥沃な土壌に恵まれたことから、全国に先駆けて「わい化栽培」(接木による品種改良)によるリンゴづくりに取り組んできました。その結果「農林水産祭天皇杯」も獲得。袋をかげずに太陽をいっぱい浴びて育った高品質なリンゴは、シャキッとした歯ごたえと蜜がたっぷり入った「安曇野リンゴ」のブランドで知られています。

◆ 松本てまり



◆ 松本民芸家具



◆ 清酒

北アルプスを源とするミネラル豊富な伏流水と、酒造に最適な安曇野の美山米、そして清澄な冬の寒さと乾燥した空気。そんな酒造りの条件を十二分に備えた松本の地酒の飲み比べもまた一興でしょう。



◆ ワイン

ブドウ栽培の好適地である松本市の山辺地域で醸造されるワインは、味も品質も高い評価を得ている逸品。四賀地区のワイナリーも定評があります。

◆ 野沢菜・稲核菜

信州といえば野沢菜が定番ですが、松本では稲核地区の固有種である稲核菜も特産品として知られます。昔ながらの風穴での保存と独特の美味に「幻の漬物」との異名も。



◆ パーの街

松本には本格的なバーが数多くあり、上質な空間とおいしいお酒が満喫できます。マスターとの話らいも松本の夜の楽しみの一つでしょう。



◆ おやき

素朴な味わいが全国的にも知られる信州の郷土食・おやき。旬の野菜や物産などを具に、蒸したり焼いたり調理法もさまざま。松本地方では野菜饅頭とも呼びます。



◆ 信州味噌

清冽な水と澄んだ空気に恵まれた松本は、長野県内随一の信州味噌の産地でもあります。自家の製法と風味にこだわった各味噌蔵自慢の逸品をご満喫ください。



◆ 山賊焼

鶏の一枚肉をにんにくや生姜などの入った醤油ダレに漬け込み、片栗粉をまぶして揚げた郷土料理です。「鶏を揚げる」→「取り上げる」→「山賊」が由来とか。

おいしい食べ物には、必ず理由がある。素性。なりたち。育てられ方。人の知恵と手の技が、それに巧みに加わって。その地の風土や人となりを知ったなら、食の旅は、もっともっとおもしろくなる。

イベント情報

イベントに参加してもっと松本を楽しみませんか？

第16回 信州・松本そば祭り

10/12(土)~10/14(月・祝) 開催場所:松本城公園・他



全国各地のそばが、国宝松本城に大集合。全国のそばを食べ歩く、日本最大級のそば祭り。そばの本場で、味比べをお楽しみください。その他、信州のご当地グルメや工芸品、そば道具のブースなども多数出展します。

◎ 信州・松本そば祭り実行委員会 (株日本広告内) 電話0263-33-8002

第30回 信濃の国楽市楽座

10/19(土)・20日(日) 開催場所:松本平広域公園 信州スカイパークやまびこドームとその周辺



松本市姉妹都市など各地域の特産品や、秋の味覚を楽しむ数多くのブースが出展。地元産の旬の野菜など農産物コーナーも展開。アーティストのステージや子供たちに人気のキャラクターが登場など、イベントも盛りだくさん。家族でお買い物し、体験し、一日を楽しんで過ごしていただけます。クラフトマーケットも同時開催!

◎ 信濃の国楽市楽座実行委員会 電話026-237-0545

クラフトピクニック2019

10/19(土)・20日(日) 開催場所:あがたの森公園 平和ひろば(芝生の広場)



工芸作家の「ものづくりの実演」と「ワークショップ(制作体験)」を中心とした野外イベントです。長野県在住作家を中心に約100組が出展予定です。毎日の生活の中で使う道具を自分で作るおもしろさを、子供はもちろん大人も楽しみながら体験できます。

◎ NPO法人松本クラフト推進協会 電話0263-34-6557

第15回 浅間温泉新そば祭り

11/2(土)・3(日・祝)



地元そば打ち名人による新そばの味をお楽しみください。格安で召し上がれます。ふるさと物産展、野外コンサートも。期間中、参画旅館の温泉に割引入浴できます。ミステリーウォークも同時開催。

◎ 浅間温泉観光協会 電話0263-46-1800

美ヶ原温泉秋のおもてなし 第13回 美ヶ原温泉「湯巡り」と「新そば祭り」

11/20(水)・21(木)



参加旅館が温泉を無料開放。ご自由に「湯巡り」をお楽しみいただき、ホットな気持ちで「新そば祭り」に。県内産の新そばを味わってください。スタンブラリーでプレゼントも。

◎ 美ヶ原温泉旅館協同組合 電話0263-33-2353

古民家で楽しむひな祭り ~押絵雛展~

R2.3/1(日)~4/5(日)



松本伝統の押絵雛を紹介。押絵雛とは、厚紙を切った型に絵をのせて、布で包み張り合わせた立体感のある絵で作られた雛人形です。

◎ 重要文化財馬場家住宅 電話0263-85-5070

松本の温泉で癒される

旅

寒さは人を親和へとみちびき、湯けむりへの憧れを、よりいっそう際立たせる。良質な源泉をたくさん残してくれて、先人に藩主に、ありがとう。心地よい疲れに、今日もありがとう。



◆ **白骨温泉** 山深い谷間に、静寂と豊富な湯量を誇る温泉宿が 11 軒。それぞれが泉質の微妙に異なる源泉を持ち、宿ごとの「湯号」としてその特徴を表しています。



◆ **浅間温泉** 松本の奥座敷とも呼ばれ、文人墨客に愛された古き良き趣と、近代施設の新たな魅力が調和した情緒のある温泉街です。その規模は地域随一を誇り、数々のホテルがそれぞれに趣向を凝らしてお迎えいたします。



◆ **乗鞍高原のりくら温泉郷** 乗鞍高原は、「乗鞍高原温泉」「わさび沢温泉」「すずらん温泉」「安曇乗鞍温泉」と名付けられた四つの源泉が湧出する温泉郷でもあります。トレッキングで疲れた体をゆったりとほぐしてください。



◆ **美ヶ原温泉** 開湯は「日本書紀」までさかのぼり、以来代々の松本藩主の格別の庇護を受けてきた由緒ある名泉。大小20軒余の旅館・ホテルがあり、お好みの施設で閑静な湯の街情緒を存分にご堪能いただけます。



◆ **さわんど温泉** 平成10(1998)年に中の湯坂巻地区から引湯してオープン。無料の足湯もあり、上高地だけでなく周辺や飛騨高山方面への行き帰りなど、気軽に利用できるのも魅力です。

◆ 崖の湯温泉

鎌倉時代に起こった崖崩れの断層から湧き出たとされる、鉢伏山麓に位置する温泉地です。傷ついたサルが湯治をしていたことから利用が始まったという言い伝えも。



◆ 奈川温泉

溪流黒川のほとり、上高地乗鞍スーパー林道の基点近くに湧く、大自然に囲まれた里山のいでの湯。優しい肌触りの湯として、効能の高さが人気を呼んでいます。



◆ 横田温泉

昭和 32 (1957) 年に開湯。かつては新浅間温泉と呼ばれたように、浅間温泉の 1.5 km ほど南にあるひなびた風情の温泉です。



◆ 渋沢温泉

肌がすべすべになると評判の「美肌温泉」。アルカリ性単純温泉は肌触りも軟らかくマイルドなので、肌の弱い方や高齢者も安心です。



◆ 扉温泉

薄川上流の渓谷、標高 1100m にある山奥の温泉。宿泊施設と日帰り温泉が各 1 軒あり、根強い人気を集めています。



◆ 坂巻温泉

梓川渓谷沿いにたたくむ、静かな一軒宿の温泉です。露天風呂では野趣あふれる渓谷美も楽しめ、また日帰り入浴も可能です。



◆ 中の湯温泉

国道 158 号線の上高地分岐の近くに湧く一軒宿の温泉。標高 1500m から眺める雄大な北アルプスも魅力で、日帰り入浴可能です。



◆ 新奈川温泉

奈川温泉の近くに湧出する単純泉の温泉。マイルドで肌触りの柔らかさが特徴で、上高地や乗鞍観光の拠点としても好適です。



◆ 穴沢温泉

源泉は湯元「岩本の湯」として古くから善光寺街道の旅人が湯治に利用、現在もひなびた風情が静かな人気を呼んでいます。



◆ 竜島温泉

波田地区の梓川渓谷沿いにある日帰り温泉施設です。露天風呂や内風呂に加え、48 畳の無料休憩室もあり幅広い層に人気。



◆ 上高地温泉

ウエスタン碑の付近に 2 軒のホテルが。いずれも露天風呂があり、外来入浴も受け入れています。絶好のロケーションも自慢の一つ。



松本の秋冬で遊ぶ

乗鞍高原



◆ **乗鞍 位ヶ原紅葉** 乗鞍岳の直下に広がる絶景の地が位ヶ原。ナナカマドやダケカンパの燃えるような紅葉と 360 度の山岳パノラマが楽しめます。乗鞍高原から乗鞍岳山頂畳平までシャトルバス運行。

剣ヶ峰 (3027m) を主峰に 23 の峰々が連なる乗鞍岳。その東山麓に広がる乗鞍高原は、四季折々の自然が満ちる屈指の高原リゾートです。紅葉は 9 月中旬頃に山頂付近から始まり、中腹そして高原へと赤や黄の帯を鮮やかに繰り広げます。



◆ 乗鞍高原 エコライン

乗鞍高原から乗鞍岳畳平へと向かう一般車道です。日本最高標高地点があり紅葉や大パノラマを満喫できます。



◆ 番所大滝

落差 40m・幅 15m で、乗鞍高原では最大規模を誇ります。松本市特別名勝に指定されており、乗鞍岳の溶岩を削りながら轟音をあげて一気に流れ落ちる豪快な滝の姿は、一見一聴の価値あり。

奈川高原



◆ **奈川高原 そば畑** 奈川の名産といえば風味に優る「そば」。標高 1200m の高冷地で、冷涼な気候と清涼な水や空気にはぐくまれるその白い花々が、清楚な美しさを湛えてやみません。

松本市の最西端に広がる高原エリアで、区内を南北に流れる奈川に沿った標高 1000m 前後の溪谷に、昔ながらの山村集落が点在しています。忘れかけていた日本の原風景を今に残す自然と人々の営みが垣間見えます。



◆ 奈川の溪流

山あいを通る爽やかなせせらぎに、呼応するように揺れる緑と紅葉の競演。澄みきった空気と相まって、心を洗われるひとときです。

イベント情報

イベントに参加してもっと松本を楽しみませんか？

乗鞍山頂シャトルバス

7/1 (月)~10/31 (木) 開催場所: 乗鞍エコライン



乗鞍高原から雲上の乗鞍岳畳平までシャトルバスで約 50 分。10 月初旬には紅葉が見ごろに。特に冷泉小屋 (標高 2,200m) から大雪渓 (標高 2,600m) までの区間が最高のロケーションです。

☎ アルピコ交通株 新島々営業所 電話 0263-92-2511

乗鞍高原 秋の味覚 第 10 回おやきときのごフェスタ

10/20 (日) 開催場所: 乗鞍観光センター



おやき作りの達人に学ぶ、美味しいおやきの作り方体験イベントです。地元郷土料理の試食、きのこ汁も。乗鞍高原内各宿泊施設にお申込みを。

☎ のりくら観光協会 電話 0263-93-2147

乗鞍高原地酒フェスタ 2019

11/16 (土) 開催場所: 乗鞍観光センター



信州の地酒を全部飲んじゃおう！ 乗鞍高原に信州各地の地酒が大集合。地酒に合う地元郷土料理、新そばもおたのしみください。

☎ のりくら観光協会 電話 0263-93-2147

ワシ・タカの渡りを観る

秋・飛来期間中 (9 月上旬~10 月中旬) 開催場所: 奈川地区・白樺峠



奈川はワシ・タカの渡りの通り道です。北アルプス名峰の見える「たか見の広場」は絶好の観測地点。日本でも数少ないワシ・タカの「渡り」の名所で観察をお楽しみください。

☎ ながわ観光協会 電話 0263-79-2125

第 29 回 奈川秋の新そばまつり

10/1 (火)~11/4 (月・休) 開催場所: 奈川地区全域



期間中に奈川地区の蕎麦店、宿泊施設を利用しアンケートにお答えいただいた方の中から、後日抽選で奈川の宿泊券や特産品をプレゼント。貴重な奈川在来種のそば粉を使った試食会と信州サーモン・イワナ・マツタケなどが味わえる旨いものを、ながわ山菜館で開催予定。

☎ 奈川地区そばまつり実行委員会 (ながわ観光協会内) 電話 0263-79-2125

寒中とうじそばまつり

R2.2/1 (土)~2/9 (日) 開催場所: 奈川地区全域



奈川地区内のそば店で「キジとうじそば」や奈川の特産品を使った郷土料理を味わうことができます。イベントは完全予約制 (有料) で松本市街地からの送迎もあります。

☎ 奈川そばの会 (ながわ観光協会内) 電話 0263-79-2125



◆ Mt. 乗鞍スノーリゾート

その標高の高さと内陸の地形から、アスピリンスノーとの高評価の雪質を誇るスキー場です。3 エリアに分かれたゲレンデには 20 以上のコースがあり、初心者から上級者まで幅広く迎え入れます。スキー場全域でスノーボードの滑走が可能で、趣向を凝らした「スノーパーク」やキッズ向けのアトラクションゲレンデも好評です。

◆ 善五郎の滝



乗鞍高原の名所の一つ。落差 22m・幅 8m の端正な滝で、厳冬期には滝全体が凍りついて氷瀑となり淡い青色を放つ幻想的な情景に魅せられます。グリーンシーズンには歩けない滝つぼまで近づくこともできます。



◆ スノートレッキング

スノーシューイングとは、クロスカンリースキーでは思い通りに進めない新雪でもラクク歩ける新しい雪原歩行体験で、バードウォッチングや樹木観察が楽しめます。野麦峠スキー場では、たき火で作る名物の山鍋ランチも好評です。

◆ 野麦峠スキー場



標高 1400 ~ 2130m に位置し、定評ある雪質と乗鞍岳や御嶽山を始めとする峰々の大眺望が自慢のスキー場です。ソリ遊びに最適なバンビゲレンデから高難度の全日本スキー連盟公認コースまで、バラエティー豊かなゲレンデと 12 のコースレイアウトを揃えてスキーヤーをお待ちしています。

どこまでも青い空。わたる風。赤や黄に山々が錦を織りなし、行く人の目をとらえ、足を止まらせる。あでやかに色づいている。人も、自然も。特別な時間が、きつとみんなに流れている。

松本の秋冬で遊ぶ旅

美ヶ原高原

◆美ヶ原から見た富士山

高原の最高峰・王ヶ頭 (2034m) から歩いて 20 分ほどの美ヶ原台上の先端部・王ヶ頭からは、眼下には松本市、その後ろに北アルプス、また天気の良い日には富士山も眺望できます。

松本市の東、標高 2000m に広がる広大な高原台地が美ヶ原高原。北アルプスの峰々はもちろん、八ヶ岳や浅間山、そして富士山まで見渡せる壮大な 360 度の大パノラマが最大の魅力です。紅葉の見ごろは 10 月上旬から中旬にかけて。レンゲツツジ・シラカバ・カラマツなどで高原全体が秋一色となります。



◆美しの塔

高原のシンボルとして建てられた高さ 6.6m の避難塔。日本一大きな文学碑でもあり、記念撮影の絶好のスポットです。

上高地／槍・穂高連峰



鋭峰・槍ヶ岳 (3180m) と、奥穂高岳 (3190m) を主峰とする穂高連峰。両山が描く鋸歯状の稜線は、まさに北アルプスのシンボルです。その玄関口としての上高地もまた、世界的に知られる景勝地で、紅葉と新雪のはざまの秋特有の絶景をご満喫ください。



◆明神池の紅葉

大正池から河童橋を通り明神池までは、上高地らしさを堪能できる平坦で歩きやすい 4～5 時間のコース。ぜひ足を伸ばしてみてください。

◆大正池の紅葉と新雪

上高地から望む山肌の色づきは 9 月下旬から始まり、次第に降りていきます。平地の見ごろは 10 月中旬。下旬にはカラマツの黄色が彩りの季節の終わりを告げます。大正池の鏡のような湖面に映る紅葉と穂高連峰の新雪は、この頃ならではの絶景です。

イベント情報

イベントに参加してもっと松本を楽しみませんか？

令和2年 松本あめ市

R2.1/11(土)・12(日) 開催場所: 中心市街地



新春の伝統行事で、今から440年程前の「塩市」が起源とされます。子供のだるま売り、全国船博覧会・即売、出店等、各商店街での催しが多彩です。また、日曜は歩行者天国となり、神輿のお練り、時代行列、塩取合戦(綱引き)などが見物です。

☎ 松本あめ市実行委員会 電話0263-36-1121

国宝松本城水影フェスティバル 2020

R2.2/1(土)・2(日)

開催場所: 松本城公園、松本駅前広場ほか



松本の冬を代表する水の祭典。全国から選手が参加する全国水影コンクールのほか、氷のジャンボすべり台など、楽しいイベントが盛り沢山です。

☎ さわやか信州松本フェスティバル組織委員会 電話0263-34-3000

まつもとHikariのページェント

12/20(金)～R2.2/29(土)17:00～22:00【予定】

開催場所: 大名町通りほか



冬の澄んだ空気の中、煌めくイルミネーションが市街地を彩ります。

☎ さわやか信州松本フェスティバル組織委員会 電話0263-34-3000

上高地明神池お船まつり 10/8(火) 11:00

開催場所: 上高地明神池



穂高神社奥宮の例大祭。紅葉が美しい池に二艘の船を浮かべ、山の安全を神に感謝する神事です。水面を静かに雅楽の調べにのり清る様は、まるで平安絵巻を見るような優雅な祭りです。

☎ 穂高神社奥宮 電話0263-95-2430

上高地閉山式 11/15(金) 11:30～

開催場所: 上高地河童橋

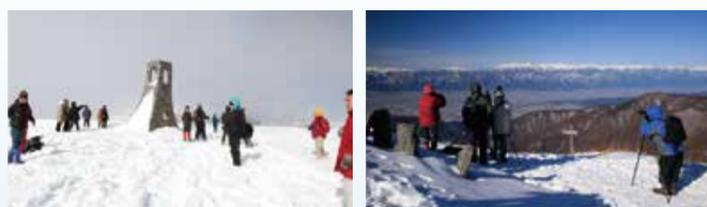


河童橋のたもとにて、上高地観光シーズンの無事と大自然の恵みに感謝し、今シーズンの締めくくりを祝います。

☎ 松本市山岳観光課 電話0263-94-2307

◆冬的美ヶ原

11 月中旬～ 4 月中旬は冬期交通規制のため車両通行は原則不可、高原内にあるホテルの宿泊客のために送迎バスが運行されます。厳寒の中で望む冬の山々もまた別格でしょう。



◆冬の牛伏寺

松本市東南部の鉢伏山 (1929m) の西側中腹に位置する真言宗智山派の寺院。古くは修験道の寺として、現在は信州随一の厄除観音として知られ、成人の日の連休には厄除縁日大祭が開かれます。本尊の十一面観音ほか 8 体の仏像が重要文化財に指定されています。

◆四賀福寿草まつり

R2.3 月中旬頃

四賀地区福寿草群生地

四賀地区の春は、福寿草で始まります。期間中、地区内外団体による各種イベントや飲食ブースが並びます。

☎ 四賀むらづくり株 内松本市四賀観光協会 電話0263-64-4447



◆大宮熱田神社

市内西部の梓川地区にたたずむ古刹。鎌倉初期の創建とされ、一間社流造・柿葺の本殿は室町末期の元龜年間の建立と伝えられており、1949 年に国の重要文化財に指定されています。



白銀の女神が山に里に舞い降りて、
 ところを惑わす。踊り誘っている。
 凜とした空気は主題へのプロローグ。
 高まりゆく胸のリズムに、
 きらめく出会いの予感が、確かに、鮮やかに。